

貸借対照表

(2019年 6月30日 現在)

(単位 円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,134,940,283	流動負債	1,469,326,309
現金及び預金	335,790,432	買掛金	305,584,076
受取手形	4,749,384	未払金	270,325,691
売掛金	836,355,025	未払費用	34,150,689
仕掛品	63,627,462	未払住民税等	91,111,100
原材料及び貯蔵品	7,875,106	未払消費税等	69,458,500
前払費用	295,390,415	前受収益	362,144,459
関係会社預託金	576,000,000	賞与引当金	282,278,134
貸倒引当金	△ 5,296,786	役員賞与引当金	33,400,000
その他	20,449,245	その他	20,873,660
固定資産	230,206,361	固定負債	17,318,186
有形固定資産	42,633,688	資産除去債務	12,845,968
建物	31,147,136	その他	4,472,218
減価償却累計額	△ 2,449,837		
工具、器具及び備品	50,722,420	負債合計	1,486,644,495
減価償却累計額	△ 37,024,495	(純資産の部)	
建設仮勘定	238,464	株主資本	878,502,149
無形固定資産	12,979,010	資本金	100,000,000
ソフトウェア	9,199,010	資本剰余金	100,000,000
ソフトウェア仮勘定	3,780,000	資本準備金	100,000,000
投資その他の資産	174,593,663	利益剰余金	678,502,149
敷金・保証金	38,665,500	その他利益剰余金	678,502,149
繰延税金資産	132,509,543	繰越利益剰余金	678,502,149
その他	13,010,033		
貸倒引当金	△ 9,591,413	純資産合計	878,502,149
資産合計	2,365,146,644	負債及び純資産合計	2,365,146,644

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品、原材料 個別法による原価法 (貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

(リース資産を除く) 主として定率法
ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。
(主たる耐用年数)

建物 8年から10年

工具、器具及び備品 3年から8年

(2) 無形固定資産

自社利用のソフトウェア 定額法
耐用年数については、社内における利用可能期間(5年)

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額に基づき当事業年度負担額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額に基づき当事業年度負担額を計上しております。

4. 重要な収益及び費用の計上基準

受注制作のソフトウェアに係る売上高及び売上原価の計上基準

① 当事業年度末までの進捗部分についての成果の確実性が認められる契約

工事進行基準 (契約の進捗率の見積りは原価比例法)

② その他の契約

検収基準

5. その他計算書類作成のための基本となる事項

(1) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

(株)アバントを連結親法人とする連結納税制度を適用しておりません。

(当期純損益金額)

当期純利益 442,984,092円